

公立学校情報機器整備事業計画

九十九里町教育委員会

令和7年3月

九十九里町公立学校情報機器整備事業計画

九十九里町教育委員会

1 端末整備・更新計画

(1) 端末整備予定数

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数	672 名	631 名	611 名	561 名	512 名
② 予備機を含む 整備上限台数	772 台	725 台	702 台	-56 台	-113 台
③ 整備台数 (予備機除く)	0 台	0 台	611 台	0 台	0 台
④ ③のうち基金 事業によるもの	0 台	0 台	611 台	0 台	0 台
⑤ 累積更新率	0%	0%	100%	108%	119%
⑥ 予備機整備台数	0 台	0 台	91 台	0 台	0 台
⑦ ⑥のうち基金 事業によるもの	0 台	0 台	91 台	0 台	0 台
⑧ 予備機整備率	0%	0%	12.96%	0%	0%

(端末の整備・更新の考え方)

令和2年度に854台整備を行った端末について、各種アプリケーション及び保守契約を1年間継続更新を行い、台数を精査した上で令和8年度に整備を行う。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：854台

○処分方法

・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用・再資源化を委託：854台

○端末データ（利用履歴・アプリケーション等）の消去方法

・自治体職員とGIGAスクール運用支援業者に委託

○スケジュール（予定）

令和8年度12月 処分事業者 選定

令和8年度 1月 新規購入端末の使用開始

令和8年度 2月 使用済端末の事業者への引渡し

○その他特記事項

2 ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

必要なネットワーク速度が確保できている学校数：全4校中4校

総学校数に占める割合：100％

児童生徒数（人）	当面の推奨帯域 (Mbps)	該当校（校）	推奨帯域を 確保できている学校（校）	備考
～ 60	～ 108	0	0	
61～120	161～216	1	1	
121～180	270～323	2	2	
181～245	377～395	0	0	
246～315	408～422	1	1	
	計	4	4	

令和7年2月に簡易帯域測定サイトで3～4回実施、実測値×1.4＝簡易測定結果として上で、敷設している回線数を乗じて推奨帯域と比較。

（文部科学省「学校のネットワークの現状について」令和6年4月より）

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

- ・光通信ケーブル（専用線）を含むネットワーク機器等について、老朽化や学校統合を鑑み計画的に更新を行う。
- ・アセスメントの実施について、令和6年度に実施済みであるが、今後も定期的に実施する。

3 校務DX計画

○提言

- ・「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」（令和5年3月）
- ・「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）
～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」
（令和5年8月中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会）

○チェックリスト

- ・「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（令和5年9月）

クラウドツールを活用した教職員間の情報交換

クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進

- 1 教職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを活用していますか
➡Microsoft365 や校務支援システム等を利用し、円滑な情報共有を図っています。
- 2 児童生徒・保護者への各種連絡にクラウドサービスを活用していますか
➡令和7年度に保護者連絡システムを導入する予定です。
- 3 宿題や定期テストの実施や採点や集計にクラウドサービスを活用していますか
➡令和2年度に、AIドリルを用いて実施しています。

校務処理の負担軽減

校務支援システムへの不必要な手入力の廃止

- ➡新年度更新における校務支援システムへの児童生徒情報登録は、学齢簿のデータをインポートすることで、不必要な手入力をしないように運用しています。
- 外字についても、住民基本台帳から連携された外字データをそのまま引用し、使用することで、新規に外字作成処理を行う必要がない仕組みを採用しています。

会議資料のペーパーレス化

資料についてクラウドサービスを利用し、共有していますか

- ➡Microsoft365 や校務支援システム等を利用し、円滑な情報共有を図っています。

学校と保護者間の連絡手段のデジタル化

- 1 児童生徒の欠席、遅刻、早退連絡についてクラウドサービスを活用していますか
（PC、モバイル端末からの受付と集計）
➡現時点では、クラウドサービスを利用した保護者連絡ツールの導入はしていないが、令和7年度に導入予定です。
- 2 保護者への調査・アンケート等に対してクラウドサービスを利用して実施・集計していますか
➡Microsoft Forms を活用して実施しています。
- 3 保護者からの問い合わせや連絡についてクラウドサービスを利用して受付・回答していますか
➡現時点では、クラウドサービスを利用した保護者連絡ツールの導入はしていないが、令和7年度に導入予定です。
- 4 保護者との面談や説明会等をオンラインサービス形式で実施していますか
➡オンライン形式については、今後検討していきます。

不合理な手作業を一層

FAXによる交信の廃止、書類への押印廃止

1 業務にFAXを使用していますか。

➡一部使用しています。やりとりする相手に応じ、FAXの使用からの代替を検討していきます。

2 保護者・外部と押印・署名が必要な交信をしていますか

➡一部不要としているものもありますが、書類の性質により、廃止を検討していきます。

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申における「令和の日本型学校教育」の構築のため、ICTを最大限に活用し個別最適な学びと、協働的な学びの実現が示されている。

本町では、第5次九十九里町総合計画の基本目標の中で、学校教育の主要施策として、「子どもたちの生きる力を育む」を掲げており、1人1台端末を通じて、デジタル教材や学習支援ソフトの活用による学習環境の充実、オンラインツールを利用した共同学習の促進、多様な学習スタイルに対応できる環境を整備する。

それにより、学習意欲の向上、思考の広がりなど教育的効果を高め、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「生きる力」「確かな学力」の定着を目指す。

(2) GIGA 第1期の総括

GIGAスクール構想の実現に向けて、令和2年度より順次ICT環境の整備を進め、854台のタブレット端末を整備し、1人1台タブレット端末の整備と合わせて、各学校に無線LAN環境設備によるネットワークを整備した。

活用にあたり、当初は学校間差や個人差が生じていたが、活用に係る研修やICT支援員の配置、ICT活用指導力を有する教職員が牽引することにより、ICTの積極的な活用が促進された。しかし、教職員のICT活用指導力における個人差に関しては、未だ解消できていないため、引き続き、授業実践例の提示により、教職員のICT活用指導力の平準化を図っていく。

また、経年蓄積されたデータや定期的なOSアップデート等によるストレージ不足によって、端末の不具合や起動までに時間がかかることにより授業時間の損失が課題になっている。児童生徒の学びを止めない観点から、ネットワークアセスメントの実施により、ボトルネックの所在等を明らかにし、機器の更新、ネットワーク環境の改善に向けて進めていく。

(3) 1人1台端末の利活用方策

「教育DXに係る当面のKPI」に示しているKPIにもとづく現状と目標

項目	KPI	現状値（年度）	目標値（年度）
1人1台端末の整備	指導者用端末整備済みの率	100%（R6）	100%（R10）
	1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備しているか。	整備している。	引き続き整備する。（R10）
ネットワークの改善	無線LAN又は移動通信システムによりインターネット接続を行う普及教室の率	100%（R6）	100%（R10）
	端末利用に係る回線の速度を計測・把握した学校の率	100%（R6）	100%（R10）
	課題のある学校についてアセスメントを実施済みの自治体の率	100%（R6）	100%（R10）
	必要なネットワーク速度を確保済みの学校の率	100%（R6）	100%（R10）
校務のデジタル化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	自治体として、業務改善やSDGs推進の観点からも取組を進めている。	100%（R10）
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率	100%（R6）	100%（R10）
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率	今後把握	100%（R10）
	次世代の校務システムの導入に向けた検討を行う自治体の率	100%（R6）	100%（R10）
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	今後把握	100%（R8）
	情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置	100%（R6）	100%（R10）
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	100%（R6）	100%（R10）
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	100%（R6）	100%（R10）
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。（R6）	100%（R10）
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面におい	多くの学校で実施しているが、率に	100%（R10）

	て1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	については今後把握していく。(R6)	
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。(R6)	100% (R10)
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。(R6)	100% (R10)
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。(R6)	100% (R10)
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。(R6)	100% (R10)
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。(R6)	100% (R10)
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。(R6)	100% (R10)
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	多くの学校で実施しているが、率については今後把握していく。(R6)	100% (R10)